

WEB INFORMATION

ホームページのご案内

株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

ホームページアドレス <http://www.adeka.co.jp>



トップページ



IRページ

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する[e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)。ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局] TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL: info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4401

いいかぶ

検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

153rd

第153期 決算のご報告

2014年4月1日~2015年3月31日

CONTENTS

連結財務ハイライト

株主の皆様へ

報告セグメント別概況

トピックス

2015~2017年度
中期経営計画「STEP 3000-II」について

連結財務諸表

個別財務諸表

株式の状況

会社の概要

ネットワーク

BUSINESS REPORT



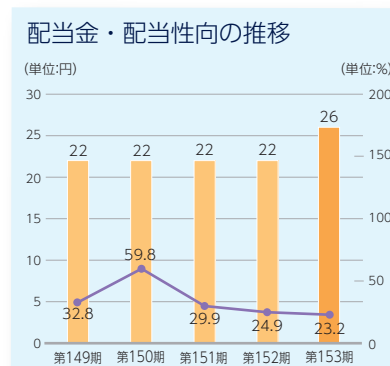
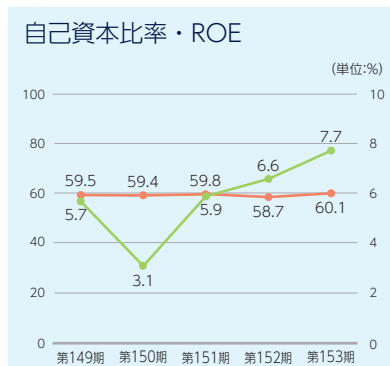
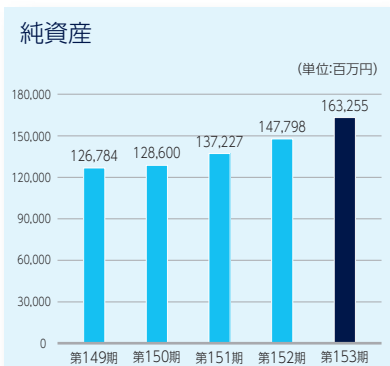
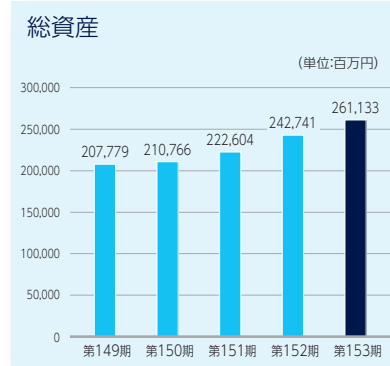
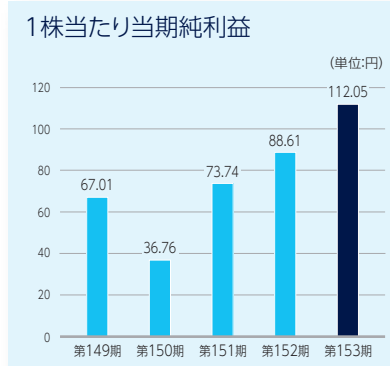
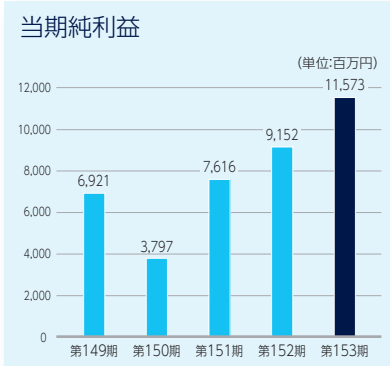
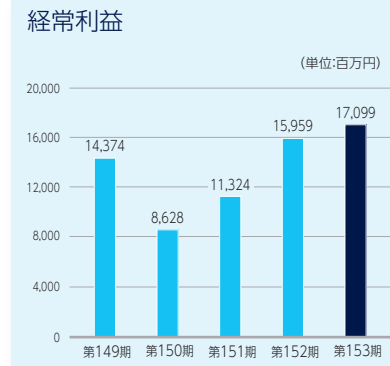
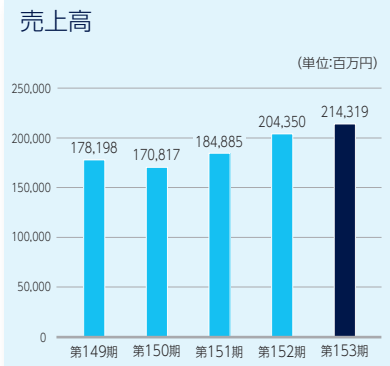
株式会社 **ADEKA**

〒116-8554 東京都荒川区東尾久七丁目2番35号
TEL. 03-4455-2801

株式会社 **ADEKA**
(証券コード 4401)

タイ ワット・プラタート・ハリパンチャイ
2004年6月、タイに現地法人ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND)
CO.,LTD.を設立し、樹脂添加剤の製造・販売を行っております。

連結財務ハイライト



株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社グループの第153期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)の事業概況についてご報告申し上げます。

代表取締役社長
郡 昭夫



世界経済は、米国では雇用環境の改善や個人消費の増勢を背景に拡大基調が続きましたが、新興国では成長率が鈍化し、欧州も回復基調を維持するものの勢いを欠く状況で推移しました。国内は、消費増税に伴う影響を受けつつも雇用環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調が持続しました。

このような状況のなか、当社グループは、海外ではマレーシア現地法人で加工油脂工場を竣工させ、さらにハラール認証も取得しました。国内においては、鹿島工場と明石工場で国際的な食品安全システム認証規格「FSSC 22000」を取得するなど、食品事業の体制を強化しました。ライフサイエンス分野では新製品開発を加速させるべく、鹿島工場西製造所にメディカル材料用実験棟を建設し、また東京医科歯科大学が開設する再生医療材料などに関する寄附研究部門への支援を開始しました。機能化学品では、千葉工場に電子部品向けの低ハロゲン特殊エポキシ樹脂の製造設備を新設しました。以上のように、将来の成長に向けた投資を着々と推し進めました。

当期の業績につきましては、売上高は2,143億19百万円(前期比4.9%増)、営業利益は146億8百万円(同5.8%増)、経常利益は170億99百万円(同7.1%増)となりました。当期純利益は115億73百万円(同26.4%増)となり、過去最高を更新しました。

年間配当金につきましては、当期の業績、財務状況などを総合的に勘案し、当初予定から2円増配し、1株につき26円(中間配当金12円、期末配当金14円)とさせていただきます。

当社グループは、2017年1月に迎える創立100周年を見据え、2015年度をスタートとする3カ年の中期経営計画「STEP 3000-II」を推進しております。この3カ年は、「売上高3,000億円のグッドカンパニーを実現する期間」であるとともに「『ADEKA VISION 2025』の達成に向けた最初の3年間」として、グループ経営管理の強化、海外事業の拡大、コア技術の深耕を推進していきます。また、2015年度は、国内市場に留まらず、海外12の国と地域における22社との連携を強化しながら収益を拡大し、これまで積み重ねてきた独自性の高い「技術」と、創業以来守り続けてきた「信頼」を武器に、グローバルレベルで、お客様にとって、社会にとって価値ある製品・サービスを創造してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も何卒変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

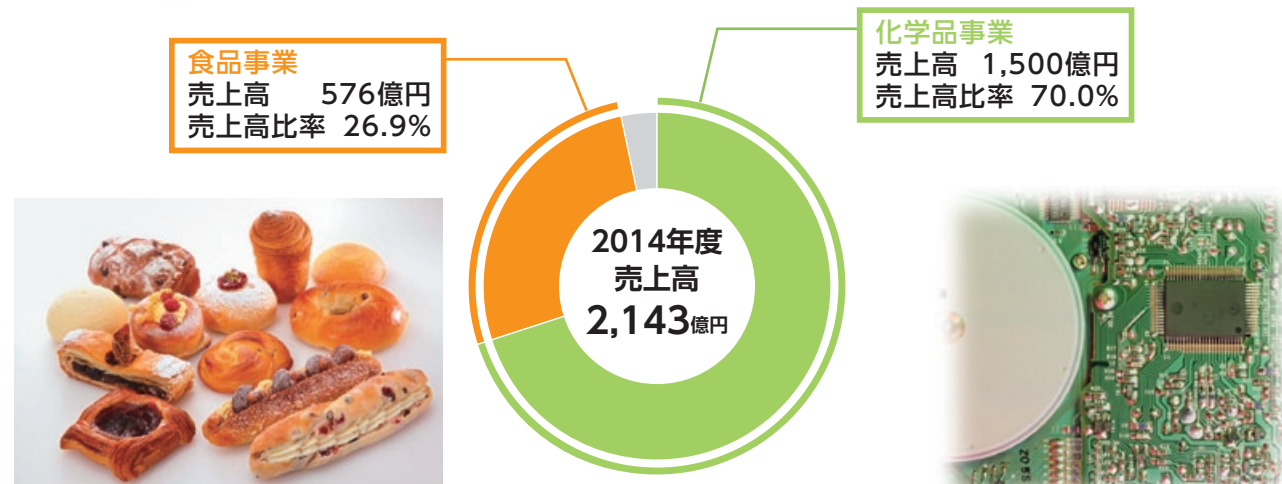
2015年6月

●2015年度通期見通し

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通期見通し	2,340億円	165億円	180億円	122億円
前期比増減率	9.2%増	13.0%増	5.3%増	5.4%増

報告セグメント別概況

●セグメント別売上高



●主要製品

事業	主要製品
化学品事業	
情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光記録材料、画像材料、その他
機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、その他
基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他
その他の事業	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他



当事業の売上高は、1,500億57百万円（前期比4.6%増）、営業利益は129億19百万円（同19.4%増）となりました。

① 情報・電子化学品

光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料は、ディスプレイの高精細化や半導体の微細化に伴い、競争力の高い独自製品が国内外で大きく伸長しました。半導体メモリ向け高誘電材料は、価格競争の影響を受け販売価格が大きく低下しました。回路材料はリードフレーム用のエッチング薬剤が伸長しましたが、全体としては横ばいで推移しました。情報・電子化学品全体では、前期に比べ減収、わずかに減益となりました。

② 機能化学品

樹脂添加剤は、国内の自動車及び建材向けの需要が低迷しましたが、海外では造核剤、光安定剤などの高機能製品及び難燃剤が伸長しました。界面活性剤は、化粧品に使われるグリコールや反応性乳化剤が海外を中心に好調でした。潤滑油添加剤は、自動車の省燃費性で高い評価を得ているエンジンオイル添加剤が国内外で堅調に推移しました。機能性樹脂は、自動車向け高機能接着剤原料や水系ウレタンが伸長しましたが、総じて低調に推移しました。機能化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

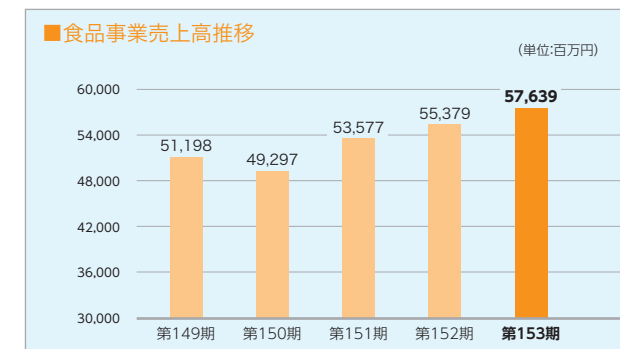
③ 基礎化学品

プロピレングリコール類や過酸化水素及びその誘導品は、国内需要の低迷に加え、燃料など製造コストの影響を大きく受けるなか、販売価格の改定や生産・物流効率の改善などのコスト削減に取り組みました。基礎化学品全体では、前期に比べ減収増益となりました。



当事業の売上高は、576億39百万円（前期比4.1%増）、営業利益は11億69百万円（同51.3%減）となりました。

製パン、洋菓子・デザート向けのマーガリン類、ホイップクリーム、フィリング類の販売は堅調に推移しました。しかしながら、海外から調達する原材料の価格が円安により上昇したことや、国内の乳製品、動物性油脂の逼迫による値上がり、物流費やエネルギーコスト上昇の影響を大きく受け、利益面は厳しい状況でした。海外では、加工油脂製品、フィリング類の販売が伸長しました。食品事業全体では、前期に比べ増収減益となりました。



化学品事業拡大への取り組み

●樹脂添加剤事業

グローバル競争力をさらに強化すべく、新興市場・成長市場の開拓と戦略製品の拡販を推進しました。

[中東]

2014年11月には、アラブ首長国連邦のADEKA Al Ghurair Additives LLCにて、中東地域でのポリオレフィン用ワンパック顆粒添加剤の需要増に応えるため、製造プラントを増強しました。

[タイ]

ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.では、顧客サービスの充実を図るため、製品のサンプル生産・評価サービス等を現地化するなど、テクニカルサービスセンターを拡充しました。

また、ハロゲンフリーのイントメッセント系難燃剤や縮合リン酸エステル系難燃剤を海外で販売強化し、汎用酸化防止剤はさらなるシェア拡大に努めました。

●情報・電子化学品事業

旺盛なDRAM需要に対応した高誘電材料の拡販や、NAND・ロジック半導体向け製品の開発を進めるとともに、光学フィルムや半導体レジスト向けに、光硬化樹脂や光重合開始剤等を拡販するなど、事業領域の拡大とシェア拡大を図ってまいりました。

●機能化学品事業

電子材料の微細化や低塩素化など市場のニーズに対応し、千葉工場に電子部品向けの低ハロゲン特殊エポキシ樹脂の製造設備を新設しました。



ADEKA Al Ghurair Additives LLC



ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.



鹿島工場西製造所 メディカル材料用実験棟

新規事業の育成

新規事業創出に向けた注力分野の1つである「ライフサイエンス」では、2014年6月にメディカル材料の安全性試験や臨床試験用サンプルの提供が可能となるメディカル材料用実験棟を鹿島工場西製造所に建設しました。

また、同年11月には、東京医科歯科大学が開設する再生医療材料などに関する寄附研究部門への支援を開始しました。同寄附研究部門では、循環器系材料、癒着防止材料、創傷治癒促進材料としての機能に注目した研究を行い、新しい移植用医用材料および再生医療用材料として、2020年頃の実用化を目指します。

食品事業拡大への取り組み

●国内基盤の強化

良質でしっかりしたバター風味が特長のマーガリン「アロマゴールド」、口溶けなめらかな食感と風味が持続するホイップクリーム「ピュアブレンドホイップ」など、美味しさと高い機能性をあわせもつ製品の拡販に注力し、国内基盤の強化を図りました。

また、2014年12月に鹿島工場で、2015年3月に明石工場で国際的な食品安全システム認証規格「FSSC 22000」を取得し、食品の安心・安全の管理体制のさらなる向上を図りました。

●海外事業展開の加速

マレーシアのADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.で、2014年9月にマーガリンやショートニングなどの業務用加工油脂製品の新工場が完成し、販売対象の国・地域の嗜好性や使用環境に適した製品の拡充を進め、同年11月にはマレーシア政府の認証機関からハラール認証を取得するなど、アジア地域のお客様に安心・安全な製品を提供する体制を整えました。

●食品新製品の上市

2015年度RISU BRAND新製品のテーマは「価値の創造をサポートします」RISU BRAND 製品は最新の技術で、お客様が求められている多様な価値を創造・実現することをサポートし、加工食品市場の活性化につながることを目指してまいります。

◆スーパーバーナード

「やわらかくておいしい」を創る、機能性練り込み油脂。ソフトでありながら歯切れが良く、粉本来の美味しさも引き出します。

◆オリンピアフレーキーシート

デニッシュの歯切れの良さが持続する折り込み油脂。経日による食感の変化の軽減や水分の多いフィリングを包んだときの重い食感を改善します。

◆ディアリキッド

加えるだけで自然な乳風味とココ味が増す乳由来の食品素材。純生クリームやコンパウンドクリームに少量添加することで乳風味を増強します。また、ホイップ後の経時的な乳風味の低下を抑制します。

◆ココメルソフト

ブルターニュ産バターとロレーヌ産岩塩を配合したマーガリン。豊潤なバター風味とココが持ち味で、パン生地だけでなくスポンジ生地とも相性の良いフィリング用マーガリンです。



「スーパーバーナード」を使用したパンの応用例



「オリンピアフレーキーシート」を使用したパンの応用例



「ディアリキッド」を使用した洋菓子の応用例

1. 中長期的な経営ビジョン

当社グループは、中長期的な目指すべき方向性を示した2025年のありたい姿『ADEKA VISION 2025』を掲げ、現在の事業基盤である「化学品と食品」のみならず幅広い事業を世界中で展開し、メーカーとして世界の技術をリードしつつ、本業を通じて社会（豊かなくらし）に貢献するグローバル企業への変革を図ります。



2. 2015～2017年度中期経営計画

2017年1月に迎える創立100周年を見据えて、2015年度から2017年度の中期経営計画『STEP 3000-Ⅱ～グッドカンパニーの実現～』を本年4月からスタートし2017年度連結売上高3,000億円、営業利益240億円を目指しています。『ADEKA VISION 2025』の達成、『売上高3,000億円のグッドカンパニー』の実現に向けて、前中期経営計画『STEP 3000』の「3つの基本戦略」を踏襲し、3つの基本方針『海外：グローバル化の拡大とローカライゼーションの加速』『技術：基盤・コア技術の深耕によるイノベーションの創出』『人財：グローバル人財、戦略立案人財の拡充と成長』に基づき、海外拡大、コア技術の深耕とグループ経営管理の強化を推進してまいります。

【中期経営計画 3つの基本戦略】

① コア事業を中心とした規模拡大

コア事業である樹脂添加剤、食品セグメントを中心に、売上高3,000億円を必達すべく規模拡大を図る。

② 第3のコア事業の育成(情報・電子)

「情報・電子」分野をADEKAグループの利益拡大を担う第3のコア事業として育成を図る。

③ 新規事業の育成や業容・領域の拡大

既存事業の拡大に加え、新規事業の育成や業容・領域の拡大を早期に実現させるための効果的な経営手段としてM&A・アライアンスを活用する。

◆新規事業（特に注力する分野）：『ライフサイエンス』『環境・エネルギー』

(1) 名称

STEP 3000-Ⅱ～グッドカンパニーの実現～

(2) 経営目標

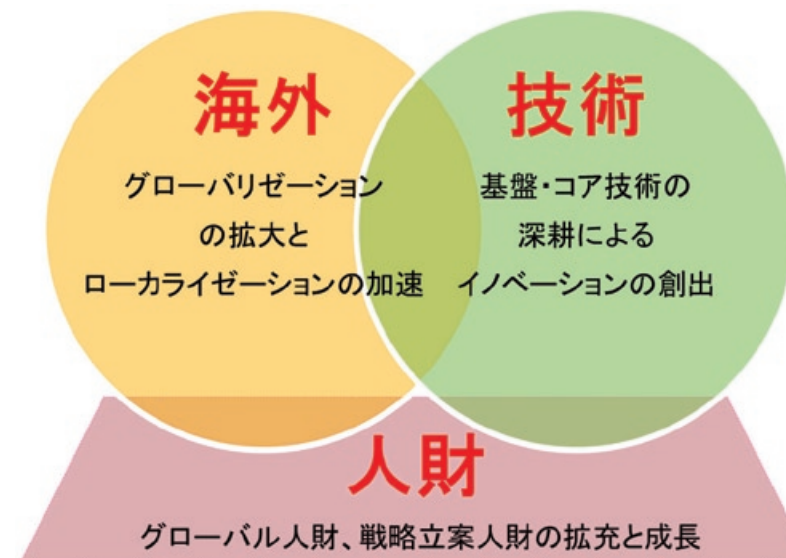
◆業績数値

	2014年度	2017年度(中計最終年度)
連結売上高	2,143億円	3,000億円
営業利益	146億円	240億円
海外売上高	927億円	1,500億円
海外売上高比率	43%	50%

◆経営指標

- 営業利益率：8%
- 2017年度までの投資総額は約700億円を計画

(3) 3つの基本方針



■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度末 (2015.3.31現在)	前連結会計年度末 (2014.3.31現在)	前年度末比増減
① 流動資産	135,580	126,604	8,975
固定資産	125,553	116,137	9,416
② 有形固定資産	76,640	73,826	2,814
無形固定資産	3,460	3,649	△189
③ 投資その他の資産	45,452	38,661	6,790
資産合計	261,133	242,741	18,391
④ 流動負債	69,493	62,407	7,085
⑤ 固定負債	28,385	32,535	△4,150
負債合計	97,878	94,943	2,935
株主資本	144,228	135,038	9,189
資本金	22,899	22,899	-
資本剰余金	19,925	19,925	-
利益剰余金	101,629	92,438	9,190
自己株式	△226	△225	△0
その他の包括利益累計額	12,711	7,431	5,279
その他有価証券評価差額金	6,363	3,050	3,313
土地再評価差額金	4,095	3,794	300
為替換算調整勘定	4,360	2,441	1,918
退職給付に係る調整累計額	△2,108	△1,854	△253
少数株主持分	6,315	5,328	986
純資産合計	163,255	147,798	15,456
負債・純資産合計	261,133	242,741	18,391

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 154,436百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

① 流動資産の増減額 現金及び預金の増加 たな卸資産の増加 が主な要因です。	8,975百万円 3,132百万円 3,649百万円	④ 流動負債の増減額 支払手形及び買掛金の増加 1年内返済予定の長期借入金の増加 が主な要因です。	7,085百万円 2,079百万円 4,394百万円
② 有形固定資産の増減額 機械装置及び運搬具の増加 建設仮勘定の増加 が主な要因です。	2,814百万円 1,231百万円 881百万円	⑤ 固定負債の増減額 長期借入金の減少 が主な要因です。	△4,150百万円 △4,725百万円
③ 投資その他の資産の増減額 投資有価証券の増加 が主な要因です。	6,790百万円 7,066百万円		

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2014.4.1~ 2015.3.31)	前連結会計年度 (2013.4.1~ 2014.3.31)	前期比増減
売上高	214,319	204,350	9,968
⑥ 営業利益	14,608	13,811	796
⑥ 経常利益	17,099	15,959	1,139
税金等調整前当期純利益	16,705	12,724	3,981
当期純利益	11,573	9,152	2,420

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度 (2014.4.1~2015.3.31)	前連結会計年度 (2013.4.1~2014.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,021	19,696
⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,987	△10,519
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,956	△1,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	949	1,356
現金及び現金同等物の増減額	3,027	9,459
現金及び現金同等物期首残高	38,670	29,210
現金及び現金同等物期末残高	41,697	38,670

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当事業年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	株 主 資 本				その他の包括利益累計額						少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
2014年4月1日残高	22,899	19,925	92,438	△225	135,038	3,050	3,794	2,441	△1,854	7,431	5,328	147,798
会計方針の変更による累積的影響額			△74		△74							△74
会計方針の変更を反映した当期首残高	22,899	19,925	92,364	△225	134,964	3,050	3,794	2,441	△1,854	7,431	5,328	147,723
連結会計年度中の変動額												
剰余金の配当			△2,379		△2,379							△2,379
当期純利益			11,573		11,573							11,573
土地再評価差額金の取崩			72		72							72
自己株式の取得				△0	△0							△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						3,313	300	1,918	△253	5,279	986	6,266
連結会計年度中の変動額合計	-	-	9,265	△0	9,264	3,313	300	1,918	△253	5,279	986	15,531
2015年3月31日残高	22,899	19,925	101,629	△226	144,228	6,363	4,095	4,360	△2,108	12,711	6,315	163,255

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

⑥ 売上高営業利益率 6.8% (前連結会計年度 6.8%)
売上高経常利益率 8.0% (前連結会計年度 7.8%)

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳
有形固定資産の取得による支出 △10,052百万円
フリー・キャッシュ・フロー
5,034百万円(前連結会計年度 9,177百万円)
*営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動による
キャッシュ・フローを差し引いた金額

個別財務諸表

単 独

■貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期 (2015.3.31現在)	前 期 (2014.3.31現在)	前期比増減
(資産の部)			
流動資産	84,059	81,624	2,435
固定資産	100,831	93,163	7,668
① 有形固定資産	57,976	55,219	2,757
無形固定資産	2,411	2,571	△159
② 投資その他の資産	40,443	35,372	5,070
資産合計	184,891	174,787	10,103
(負債の部)			
流動負債	39,778	35,352	4,425
固定負債	19,057	21,865	△2,807
負債合計	58,835	57,217	1,617
(純資産の部)			
株主資本	116,067	110,987	5,079
資本金	22,899	22,899	—
資本剰余金	19,925	19,925	—
利益剰余金	73,411	68,331	5,080
自己株式	△169	△168	△0
評価・換算差額等	9,987	6,582	3,405
その他有価証券評価差額金	5,892	2,787	3,105
土地再評価差額金	4,095	3,794	300
純資産合計	126,055	117,569	8,485
負債・純資産合計	184,891	174,787	10,103

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 127,542百万円
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:百万円)

当事業年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	株 主 資 本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計	
2014年4月1日残高	22,899	19,925	68,331	△168	110,987	2,787	3,794	6,582	117,569
会計方針の変更による累積的影響額			△74		△74				△74
会計方針の変更を反映した当期首残高	22,899	19,925	68,256	△168	110,913	2,787	3,794	6,582	117,495
事業年度中の変動額									
剰余金の配当			△2,379		△2,379				△2,379
当期純利益			7,462		7,462				7,462
自己株式の取得				△0	△0				△0
土地再評価差額金の取崩			72		72				72
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						3,105	300	3,405	3,405
事業年度中の変動額合計	—	—	5,155	△0	5,154	3,105	300	3,405	8,560
2015年3月31日残高	22,899	19,925	73,411	△169	116,067	5,892	4,095	9,987	126,055

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期 (2014.4.1~ 2015.3.31)	前 期 (2013.4.1~ 2014.3.31)	前期比増減
③ 売上高	120,796	117,100	3,696
④ 営業利益	8,703	7,783	919
⑤ 経常利益	10,605	9,331	1,273
税引前当期純利益	10,245	6,101	4,143
当期純利益	7,462	4,595	2,867

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

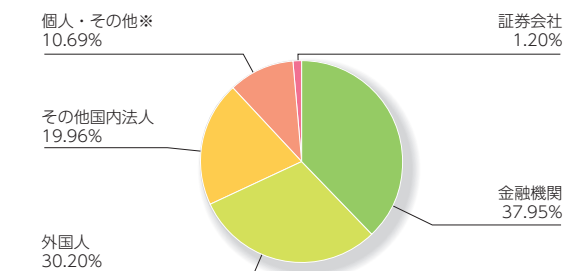
- 有形固定資産の増減額 2,757百万円
機械装置の増加
が主な要因です。
- 投資その他の資産の増減額 5,070百万円
投資有価証券の増加
が主な要因です。
- 売上高 3.2%の増収
化学品事業は3.2%の増収、食品事業は3.1%の増収
売上高輸出比率は、前期19.1%から1.5ポイント増加、20.6%
となりました。
- 売上高営業利益率 7.2% (前期6.6%)
- 売上高経常利益率 8.8% (前期8.0%)

株式の状況 (2015年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 400,000,000株
発行済株式総数 103,651,442株
当期末株主数 5,256名(前期末比771名減)

所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式が含まれております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当:3月31日 中間配当:9月30日
公告方法	電子公告。但し、やむを得ない事由によって電子 公告することができない場合、日本経済新聞に掲載 します。
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

大株主(上位10名)

順位	株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
1	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,473	4.32
2	朝日生命保険相互会社	4,053	3.92
3	NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE 15PCT TREATY ACCOUNT	4,035	3.90
4	みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	3,770	3.64
5	JP MORGAN CHASE BANK 380634	3,018	2.92
6	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,870	2.77
7	全国共済農業協同組合連合会	2,687	2.60
8	ADEKA取引先持株会	2,656	2.57
9	農林中央金庫	2,244	2.17
10	日本ゼオン株式会社	1,881	1.82

(注)当社は自己株式173,914株を保有しており、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式事務手続きのお問い合わせ先

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
- 証券会社の口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
株主様の口座のある証券会社等にお申し出ください。
 - 特別口座に記録された株式に関するお問い合わせ先
三井住友信託銀行株式会社(特別口座管理機関)にお申し出くだ
さい。

未払配当金のお支払いについて

- 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出くだ
さい。

会社の概要

会社の概要 (2015年3月31日現在)

設立 1917年1月27日
 資本金 22,899,673,072円
 従業員数 3,099名 (連結)
 1,545名 (単独)

役員 (2015年6月19日現在)

代表取締役社長 郡 昭 夫
 代表取締役 専務執行役員 世 良 田 博 史
 取締役 常務執行役員 富 安 治 彦
 取締役 常務執行役員 辻 本 光
 取締役 常務執行役員 北 條 修 司
 取締役 執行役員 矢 島 明 政
 取締役 執行役員 北 森 一 孝
 取締役 執行役員 荒 田 亮 三
 取締役 執行役員 田 島 興 司
 取締役 (社外) 永 井 和 之
 取締役 (社外) 矢 野 弘 典
 常勤監査役 柴 田 良 平
 常勤監査役 林 義 人
 監査役 (社外) 奥 山 章 雄
 監査役 (社外) 竹 村 葉 子
 監査役 (社外) 佐 藤 美 樹

執行役員 (2015年6月19日現在) ※取締役業務者を除く

常務執行役員 板 垣 和 雄
 上席執行役員 幸 野 俊 則
 執行役員 古 川 豊
 執行役員 飛 田 悦 男
 執行役員 城 詰 秀 尊
 執行役員 志 賀 洋 二
 執行役員 芳 仲 篤 也
 執行役員 兄 部 真 二
 執行役員 安 田 晋

連結子会社の状況 (2015年3月31日現在)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
ADEKAケミカルサプライ(株)	104	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
ADEKAクリーンエイド(株)	140	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
ADEKAファインフーズ(株)	50	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
ADEKA総合設備(株)	130	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
AMFINE CHEMICAL CORP. [米国]	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤等の製造、販売
ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	食用加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
オキシラン化学(株)	600	50.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
ADEKA食品販売(株)	42	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
ADEKA物流(株)	50	100.00	貨物運送取扱事業、倉庫業、車輛等のリース
長江化学股份有限公司[台湾]	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び特殊可塑剤等の販売
(株)ヨンゴ	18	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造、販売
ADEKA (ASIA) PTE.LTD. [シンガポール]	80万USドル	100.00	化学製品の販売
ADEKA Europe GmbH [ドイツ]	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	液晶パネル関連薬劑の製造、販売、化学製品の輸入販売
ADEKA PALMAROLE SAS [フランス]	300万ユーロ	90.00 (間接所有90.00)	樹脂添加剤の製造、販売
ADEKAライフクリエイト(株)	65	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器販売、ビル・社宅等の管理運営
艾迪科(上海)貿易有限公司[中国]	100万USドル	100.00	化学製品及び原材料の販売
艾迪科精細化工(上海)有限公司[中国]	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
艾迪科精細化工(常熟)有限公司[中国]	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
上原食品工業(株)	70	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造、販売
ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD.	3億5,000万バーツ	81.00	樹脂添加剤の製造、販売、輸入販売
艾迪科食品(常熟)有限公司[中国]	1,500万USドル	70.00	食用油脂、油脂加工食品の製造、販売
AM STABILIZERS CORP.[米国]	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造、販売

持分法適用関連会社の状況 (2015年3月31日現在)

名 称	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
日本農業(株)	10,939	24.21	農業等の製造、販売
(株)コープクリーン	80	46.88	石鹸、洗剤等の開発、販売

ネットワーク (2015年3月31日現在)

●事業所

本 社 東京都荒川区
 大 阪 支 社 大阪市中央区
 名古屋支店 名古屋市中村区
 福岡支店 福岡市博多区
 札幌営業所 札幌市中央区
 仙台営業所 仙台市青葉区

●生産工場

鹿島工場 神栖市東和田
 千葉工場 袖ヶ浦市北袖
 三重工場 三重県真分郡
 富士工場 富士市富士岡
 明石工場 兵庫県加古郡
 相馬工場 相馬市光陽

●研究所

尾久中央開発研究所 東京都荒川区
 浦和開発研究所 さいたま市南区
 久喜開発研究所 埼玉県久喜市
 関西開発室 大阪市中央区

●海外拠点

